

知床の森から



北見管林支局
知床森林センター

☎ 099-41 北海道斜里郡斜里町本町1-1番地
☎ 01522-3-3009 FAX 01522-3-3160

オホーツク 知床の12月

16日快晴、ウトロ方面に向かう。

除雪車が先行したのか路面の凹凸が均され運転し易い。雪を被った広い耕地は休眠に入っている。峠浜の集落からは道路はオホーツク海に近づく。この辺りが知床国立公園の基部である。道路沿いのカシワナラの矮林は枯葉をしっかりと抱えて離そうともしない。



日の出の集落からは道は海沿いを走る。漁期を終え銚定置網が引き上げられた海は、浮き玉が消えて、はるか地平線までなにもない。濃紺の海が重そうに揺れている。あちこちで行っていた道路工事も終了していたが、金山川近くで一か所だけ拡張工事を行っていた。越年もやるのかも知れない。オンネベツ川に蟬集していたカラフトマスはとうに遡上をやめ、オオセグロカモメの群れも渡りを終えたようだ。

オンネベツ川を過ぎると、オジロワシが1羽右手の斜面上部の裸の大木の枝に止まっている、やっぱり来ていた。距離があったのと逆光で写真向きでない。オシンコシンの滝のトンネルを過ぎると、またオジロワシが1羽。見廻ろいに余念がない。ちょっと離れてハシブトガラスが1羽監視するようにオジロワシを見ている。

ウトロの町はまったく様変わりしている。観光客で賑わった町もシャッターを下ろした土産店、道行く人の疎らさと相まって静かすぎる感じだ。町立の知床自然センターに向かう。知床の山なみは褐褐色の広葉樹林の間に、黒く針葉樹林が混在し静かにたたずんでいる。山はもう根雪である。除雪は自然センターまでで、ラウスに抜ける国道は閉鎖され、岩尾別に向かう知床公園線は除雪されていず、4WD車の轍のみが路面の雪を割っている。



オウツ

ラウス岳は抜けるような青空に純白の山容をくつきり浮かび上げ、暗れ姿ごろうじろの感がある。シャッターを切る。突然ラウス側からうす曇が這い上り、頂上部を紗のように覆う。シャッターを急ぐ。

帰り道、ウトロの手前ホロベツ川の近く、左手の樹上にオジロワシ1羽を見る。小枝がうるさい。大鳥は枯れた大木にこそよく似合うし、枯れ木の存

在価値も大いに上るのだが、なかなか思ようにはいかぬものである。と、右手上空手のとどくような近くをオオワシが飛んでいる。黄色い嘴がよく見える。おおきな翼をゆつくり羽ばたき、王者の風格で悠然と飛び去った。オジロワシもオオワシもとつて来ていたのだ。これからも飛来する数は多くなるはずである。知床は彼ら大鳥の一冬の居留の場を提供することになる。

ウトロの出口、切り通しの国道の下に降りてみると、木立ちの際のちょっと目につきにくい場所に石碑を見つけた。おもてに1首-うくいすの 声を忘れし 上り坂 月朗-と刻まれている。往時、ウトロから斜里方面に向うとき、この海に突き出た稜線を越えるには難儀したのかもしれない。

切り通しを過ぎ岩礁に砕ける波と、潮騒を右に帰る。後方に知床連山がくつきりと映え、前方には遙く裾野をばかして琴山が優しげに横たわっていた。

ニレの受難

エゾシカによる農作物の被害は北海道では多いが、実は森林も被害を受けいる。知床国有林にもエゾシカが多く生息しており、林内にはシカ道・溜り場が多くあり、足跡・脱糞は随所に見られる。紅葉時肥えた雄シカの逞しい姿がよく見られ、鳴き声が森のしじまを裂いて飛び交っている。国有林におけるエゾシカの食害はニレの大木にもおよび、樹皮をぐるりと食われた立枯れ木が目立つ。



多くのエゾシカの生息を可能ならしめる知床の豊かな自然も、樹皮の提供を余儀なくされる季節があることになる。さらに猟期のいま、隣接する狩猟区域から禁猟区への避難流入が考えられ、ニレの食害に一層の拍車をかけているのかもしれない。あわれニレの木である。とはいえ野生動物と人間社会との関わり合いの中で、禁猟区域のこの知床の自然は、エゾシカにとってあらゆる面での聖域となっていることはまちがいない。

賑わった知床野営場

今年も野営場は利用者で賑わった。6月下旬の開所前から知床森林センターにも問い合わせが多くあり、10月上旬の開所まで利用者は10431人を数えた。野営場の利用形態は、テント設営宿泊・同日帰り・ケビン利用であるが、圧倒的に多いのはテント設営宿泊である。利用者のピークは7月下旬からお盆までで、場内はカラフルなテントであふれる。アウトドア志向で今後とも野営場の利用は続くものと思われる。



編集後記

今年も残すところ10日余りとなりました。本年も知床を舞台としたイベントに多くの方の参加を頂き大変うれしく思っております。

また、関係者の皆様にはこれらの話題を折にふれ取り上げて頂きましたこと厚くお礼申し上げます。来年は「トリ年」、当センターのアイドルキャラクタ「グラチャン」の年でもあります。職員一同グラチャンに負けず飛躍の年にすべく頑張ります。ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。